

綾川新駅へ財政支援 さぬきに「へき地薬局」

9月定例県議会は3日、本会議を続開。6氏が一般質問に立ち、高松琴平電気鉄道の新たな交通結節拠点となる綾川新駅整備への支援などについて、理事者側の考えをたじた。綾川新駅整備について浜田知事は、来年度の予算編成で積極的に財政支援をしていく方針を明らかにした。また、「かがわ医療福祉総合特区」

県議会一般質問

の取り組みの一環で、11月末にさぬき市多和地区に「へき地薬局」を開設することを報告。へき地薬局では、診療所での院内処方比べて豊富な種類を投薬することができるほか、電子化された処方情報や患者の病名、アレルギー情報などを診療所と薬局で共有することもできる。

一、災害時の広域応援に備え、ヘリコプターに関係施設の場所を示す「ヘリサイン」の整備が必要。

一、「かがわ医療福祉総合特区」の取り組みも含め、ICTを活用した地域医療の充実の現状は。

浜田知事 一、ヘリサインについては、昨年度四国4県で表示方法の統一を行った。本年度は4県連携事業で各県1カ所、県内では県防災学校に整備し、ほかの県有庁舎の整備についても検討する。

一、かがわ医療福祉総合特区構想では、11月末にさぬき市多和に「へき地薬局」を開設する。薬局と診療所が電子化された処方情報を共有し、パソコンを使った遠隔服薬指導も実施できるようにしていく。